

様式(7)

報告番号	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">甲 保</div> 第 14 号 乙 保
論 文 内 容 要 旨	
氏 名	宮川 操
題 目	Reliability Verification and Practical Effectiveness Evaluation of the Nursing Administration Analysis Formulae Based on PSYCHOMS® (精神科アウトカムシステム (PSYCHOMS®) を基にした看護管理分析式の信頼性の検証および臨床での有効性の評価)
<p>精神科病院の看護師の人員配置は一般診療科に比して少ない。精神医療サービスの利用者の生活の質を改善するためには、限られた人材でどのように効果的かつ効率よく質の高い看護を提供するかということが重要である。そのためには、精神科病院における現状を分析し戦略を立て、実際の看護業務に生かしていくことが鍵となるが、看護管理の業務範囲は拡大し、看護管理に必要な情報は多岐にわたり膨大な量となっている。そこで、筆者らは看護管理の視点で人員不足を補うための適正人員配置を支援する仕組みに着目し、分類と抽出の2種類の計算方法を用いて解析を行う看護管理分析式を開発し、特許の申請を行った。</p> <p>本研究の目的は、開発した看護管理分析式の信頼性の検証および臨床での有効性の評価を行うことである。評価を行うために、共同研究者の協力病院であるA病院から得た実臨床のデータを用いてデータベースを作成した。開発した分析式に基づいて作成したSQL文でデータベースにアクセスし分析を行った。分析内容は、分析1：精神科療養病棟の看護職員の配置状況と能力レベルの照合、分析2：A病院の規定したプリセプター能力基準とプリセプター看護師のラダーレベルの照合とし、看護管理者の視点で解析結果を質的に評価した。評価は看護管理者2人、看護管理研究者3人、プログラム経験者3人の8人で行った。分析及び評価期間は平成26年8月～平成26年10月であった。</p> <p>結果は、分析1では精神科療養病棟である3つの病棟に配属された看護職員数が、自己申請ラダーと管理者評価ラダー別に分類され表示された。更に、自己評価が看護師長のラダー評価より低い看護師が4人、高い看護師が1人いることが明らかになり、能力評価の不適切さが推測された。この結果は、病棟の特性に応じた量的・質的人員配置となっているかを評価するための指標の1つとなると評価した。分析2では、全病棟のプリセプター看護師が抽出でき、実際にはプリセプター看護師が配置されているのは6病棟のうち4病棟であることがわかった。また、A病院の規定するプリセプター能力基準に到達していない看護師がプリセプターになっていることが明らかになった。この結果は、新人教育のみならず指導者の役割を担う看護師の教育をどうすべきか、質の高い看護ケアを提供するための人材活用の方策を検討する資料になると評価した。</p> <p>開発した看護管理分析式は、統計処理に不慣れな看護管理者でも数量的データと質的データを組み合わせ、看護管理者が求める情報を容易に表示することができた。特に、病棟機能や特性に応じた看護の質を担保するための人員配置のために重要な情報が得られることが確認できた。また、看護管理者が情報収集と整理に要していた時間を削減し、適正人員配置の方略を考えるための思考の時間に置き換えることができ、看護管理の質と効率性を高めることができることが示唆された。</p>	